

# 米子市水道局庁舎建設に係る基本構想

米子市水道局

## 基本構想

現水道局庁舎および付属舎は昭和46年に竣工し、築42年経過している。

平成7年、阪神淡路大震災の発生後、平成8年に耐震調査を実施し、本庁舎は「地震の振動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある」また付属舎については「倒壊または崩壊する危険性が高い」と診断され、同年に、付属舎は耐震補強工事を施工した。

平成12年には鳥取県西部地震が発生し、非常口扉の損傷や壁に新たな亀裂が発生し、再度耐震調査を行い「倒壊または崩壊する危険性がある」と判断された。

このような水道局庁舎の耐震性能不足は、災害発生時の応急給水や復旧作業の拠点としての機能を果たすうえで大きな障害となることが懸念される。

老朽化した水道局庁舎を改修する方法では災害対応のための機能強化を図るうえで限界があることや、その構造上ユニバーサルデザインを取り入れることが難しく、執務や収納にあてるスペースも十分に確保できないと考えられる。

これらのことから、米子市水道事業の拠点となる水道局庁舎を新たに建設するものである。

## 目的

- 1 災害等の非常時において、迅速に対応できる防災機能を有した拠点を確立する。
- 2 災害時の給水拠点機能や応急復旧機能を確保する。
- 3 生活に直結するライフラインとして水の安定供給が出来る体制を強化する。
- 4 多種多様化するニーズへの的確な対応が出来る効率的な経営拠点を整備する。

## 庁舎建設の流れ

### 基本構想・基本計画



平成25年度

施設の基本方針、導入機能、施設規模、概算設計費、建設スケジュール、概略配置計画等

### 基本設計



平成26年度

基本構想・計画に基づき建物の平面・立面・断面形状を決定し、構造、設備の基本設計を行う

### 詳細設計



平成27年度

基本設計に基づき詳細検討を行い具体化する。工事のための詳細設計図の作成、積算をする。

### 建設工事



平成28年度

### 完成

いい水、いい一日。



米子市水道局PRキャラクター

パッキン☆マン

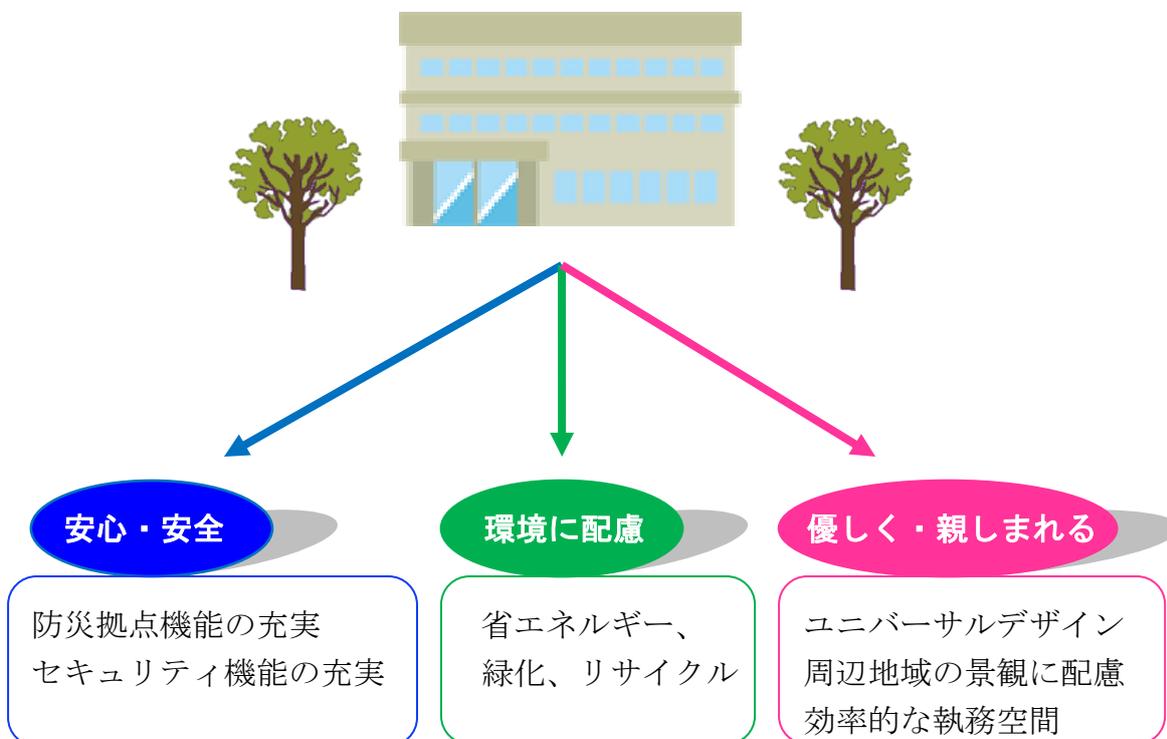
## 建設予定地の選定理由

以下の理由により、水道局敷地内南側を局庁舎建設用地として選定した。

- 1 水道局敷地にあるスペースを有効活用でき、新たな建設用地取得が不要であるから安価に庁舎建設ができる。
- 2 現庁舎跡地等は、災害時応援車両の駐車、資機材の一部保管などに使用することで危機管理対応の充実を図ることができる。
- 3 米子市中心市街地に比較的近く、県道に隣接し、国道9号線の近くであるため交通アクセスに優れ、米子市郊外への移動も迅速に対応できるため日常業務においても効率的である。
- 4 水源地に隣接していることにより、速やかに水源地危機管理対応ができる。



## 基本構想概念図



### 安心・安全

#### 防災拠点機能の充実

- 1 上水道事業の活動拠点としての機能を保持するため、十分に耐震及び耐浸水性能を備えた施設とする。
- 2 無線通信設備や資材倉庫、さらに応援隊受け入れなど災害時に必要な機能や活動上必要となるスペースを確保する。

#### セキュリティ機能の充実

- 1 不測の事態に備え、防災・災害復旧機能、ITシステム、電気設備等のバックアップ機能を整備する。
- 2 庁舎内にある様々な行政情報の保護、個人情報保護、防犯上の観点から多面的なセキュリティを配慮した機能を確保する。
- 3 庁舎、執務室空間等への不審者の侵入防止に配慮した方策を講じる。
- 4 防犯上の観点から、敷地の植樹帯等により死角が出来にくい配慮をする。

## 環境に配慮

### 省エネルギー、緑化、リサイクル

- 1 省エネルギー施設の実現のため、建物の高气密、高断熱、自然採光、自然エネルギーの活用を図る。
- 2 庁舎周辺に草木を整備し憩いの空間づくりを図る。
- 3 敷地利用、建物配置、空間構成、機能配置、さらに設備機器などにおいて、床面積等の機能的なゆとりを確保する。
- 4 リサイクル材、県産材を積極的に採用すると共に、リサイクル可能な資材の活用を図る。

## 優しく・親しまれる

### ユニバーサルデザイン

- 1 カウンターは、車椅子ご利用のお客様に配慮しローカウンターとする。
- 2 窓口やお客様利用空間等の施設、設備は分かりやすく配置し、利用者が移動しやすいように連続性を持たせる。
- 3 多機能トイレは、お子様連れや障がいのある方、ご高齢のお客様などが安心して来局できるような空間づくりをする。
- 4 エレベーターは、誰でも利用しやすいよう配置、大きさに配慮する。
- 5 分かりやすい内容表示と、目につきやすい位置での案内表示を掲示する。

### 周辺地域の景観に配慮した施設

- 1 水道局として、自然環境に配慮した施設づくりを行う。
- 2 周辺建物の景観にマッチングし、親しみやすい施設づくりを行う。

### 効率的な執務空間づくり

- 1 コミュニケーションがとりやすく、働きやすい執務空間にする。
- 2 日常的に必要な打ち合わせや、お客様への応接を行う場合等のためのスペースを各フロアに配置する。
- 3 多目的、多人数にも対応できる、用途に合わせ空間を変えられる共用会議室を配置する。
- 4 日常的な短期保管書庫を執務室に配置し、長期保管書庫を別途配置する。